

TOTO

洗面所用シングルレバー混合栓

TL482UCF型

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

安全のために必ずお守りください

取付けの前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、
△注意の表示によってお知らせしています。

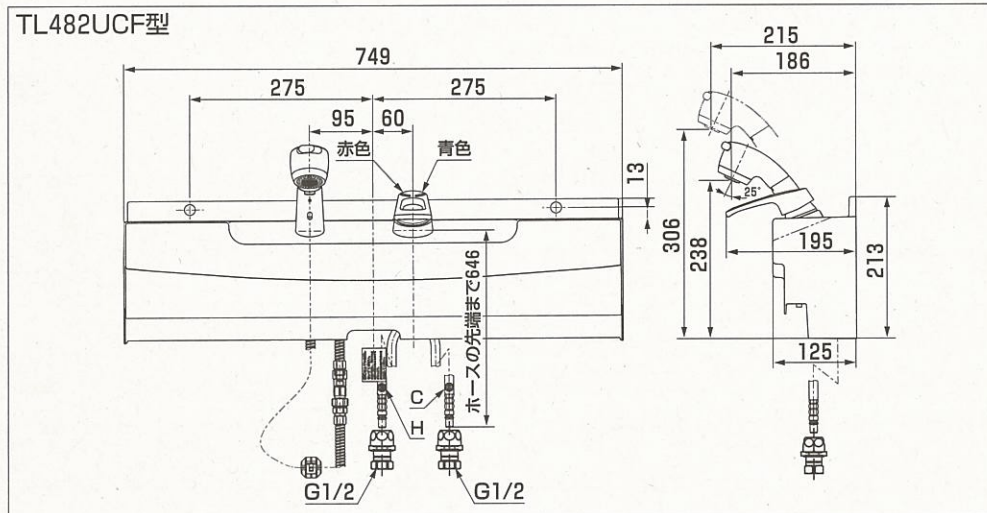
△ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があります。

△ 注意

- (1)湯水を逆に配管しないでください。
水を出そうとしても、湯が出てやけどすることがあります。
- (2)凍結が予想される際は、水を抜いておいてください。
凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

完 成 図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



付属部品明細

	名 称	数 量
1	壁固定木ねじ〔φ4.5×50〕	2本
2	化粧キャップ	2個
3	施工説明書	1枚
4	取扱説明書	1冊

仕 様

給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度		85℃以下
使用可能水質		水道水及び飲用可能な井戸水
使用環境温度	一般地用	1~40℃
	寒冷地用	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用 途		一般住宅洗面所用

取 付 け 前 に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
快適に水栓をお使いいただくためには、0.2MPa程度の圧力をおすすめします。ウォーターハンマーやバルブ開閉音が低減します。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。

- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります、商品には問題ありません。

給水・給湯ホースの接続

- ①ワンタッチソケットを止水栓に固定する。
- ②給水・給湯ホースに異物の付着がないことを確認し、ワンタッチソケットにまっすぐ奥まで（カチッと音がするまで）確実に差し込む。

※この際、同梱の「ワンタッチソケット取付け方法」の説明札を必ずホースに通してください。

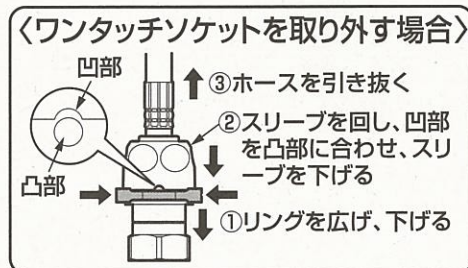
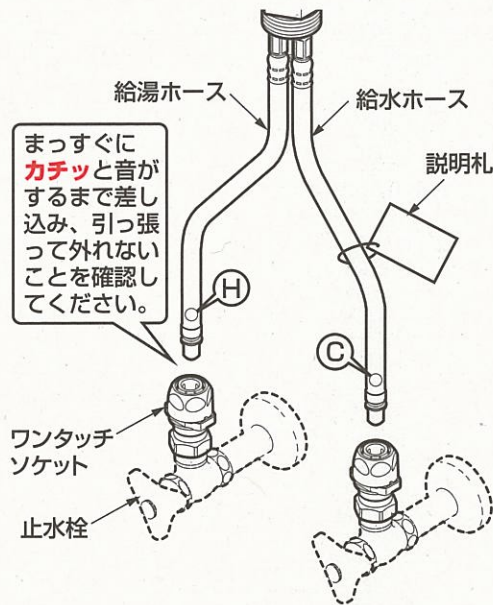
注意

給水・給湯ホースの緩み防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

取付け後の確認

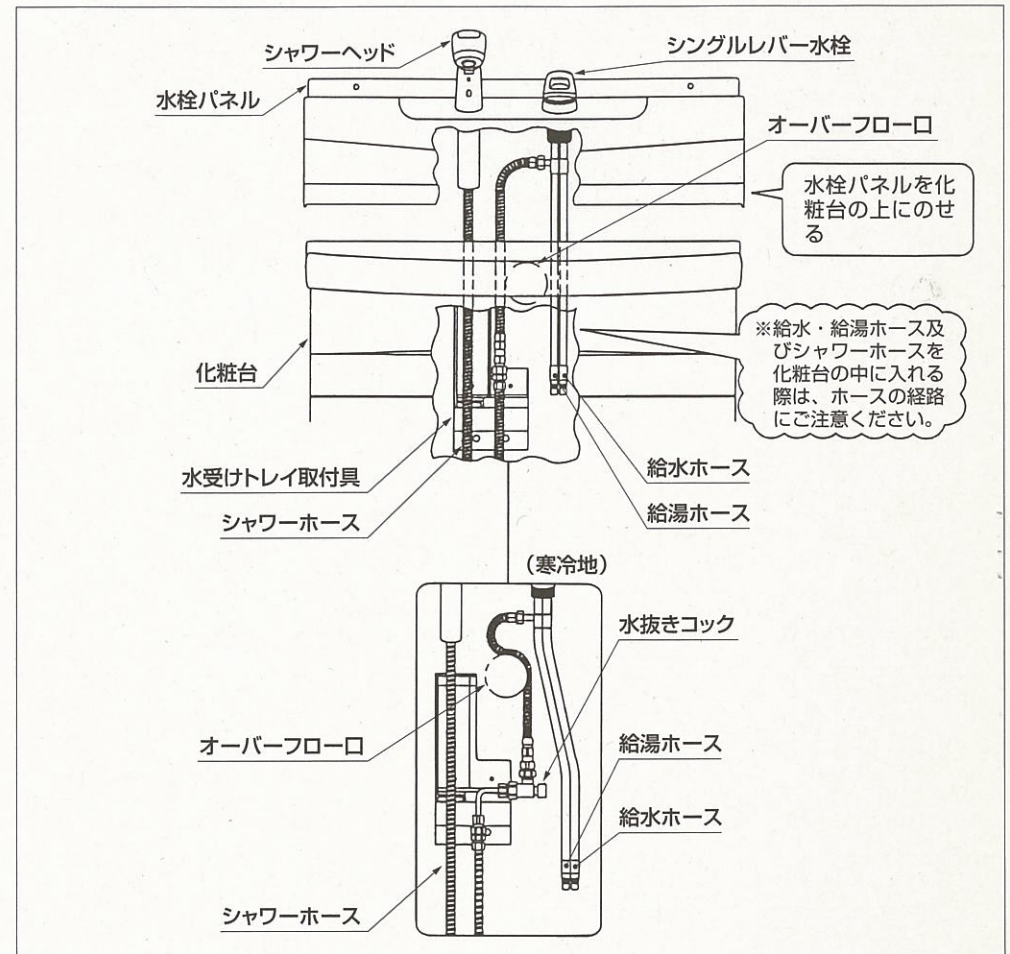
重要

- ホースをまっすぐ引っ張って外れないこと
- 奥まで確実に差し込まれていること
- リングがセットされていること



器具の取付け

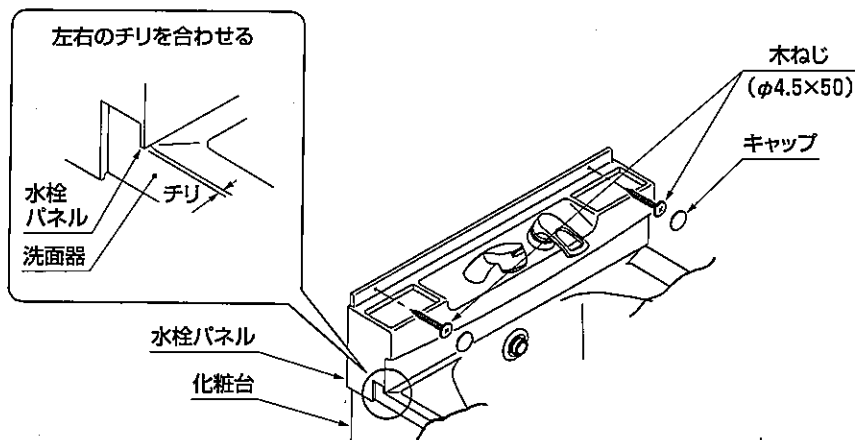
1. 給水管内の清掃
器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などは完全に洗い流してください。
2. 水栓パネルを化粧台の上に仮置きしてください。



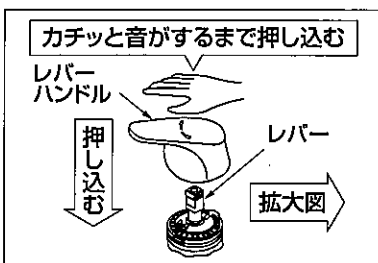
3. 製品の取付け

水栓の取付している水栓パネルを化粧鏡側に同梱の木ねじ（タッピンねじφ4.5×50）にて2ヶ所取付けてください。
この後、ねじの頭に化粧キャップをかぶせてください。

付属の木ねじ（2本）で確実に固定して、化粧キャップをはめ込んでください。

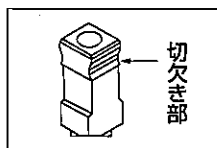


レバーハンドルの取付け要領



このレバーハンドルは、ワンタッチで取付けることができます。

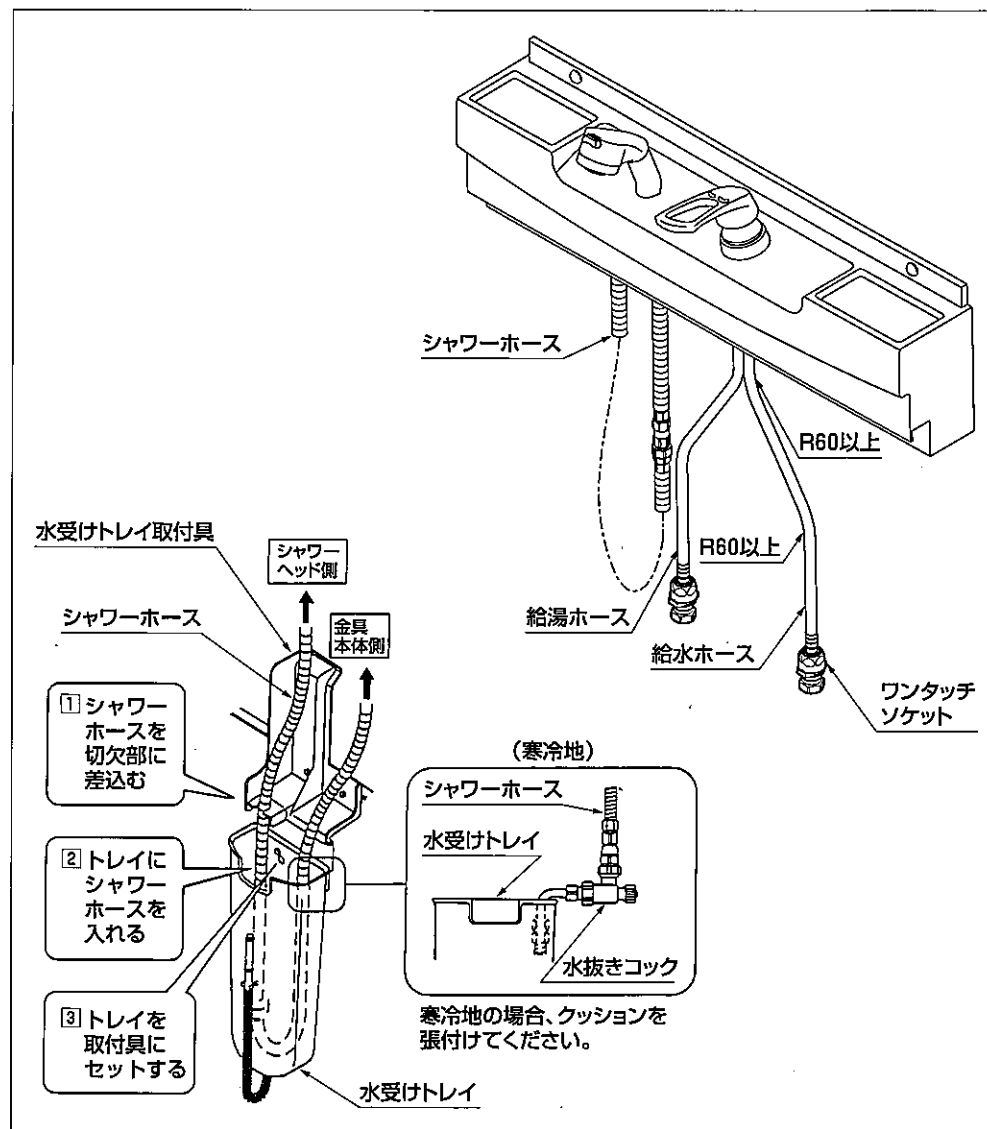
ご注意



レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向性に注意してください。
正面からみてレバーの切欠きは、両サイドにあります。
万一方向をまちがえて取付けた時は、ハンドルを一度引き抜いて方向を合わせて再度押し込んでください。
最後に、レバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

4. 給水、給湯ホースの取付け及び施工上の注意点

- 同梱のワンタッチソケットを止水栓に取付けてください。
次に給水、給湯ホースをワンタッチソケットにカチッと音がするまで差し込んでください。
- ホースは最小曲げ半径（60mm）より小さく曲げて使用しないでください。折れて早期破損を生じる可能性があります。施工時には、最小曲げ半径（60mm）よりも小さく曲げないように、ご注意ください。
又、金具本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。



使用上の注意

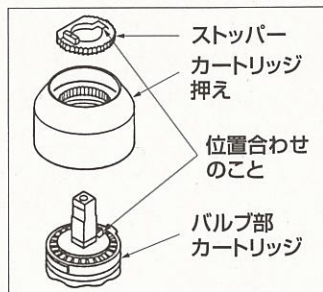
この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。
レバーハンドルを早く操作しようとすると、抵抗感が発生し重く感じるがありますが故障ではありません。
万一、レバーハンドルがロックして水が止まらなくなった場合は、一度全開にして再度ゆっくり閉めてください。

ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、**絶対に分解しない**でください。

点検時の注意

カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、**工具は使用しない**でください。再セットされる際に、ストッパーを組込むときは、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押込むこと。その際カートリッジ押えの内側の歯と、ストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にて歯を合わせる様に調整してください。



お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご説明ください。

- 水栓の表面や樹脂部を傷つける以下のものは絶対に使用しないでください。
 - ・TOTOWaterアカクリーナー以外の酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
 - ・シンナー、ベンジンなどの溶剤

もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。
- 水栓の表面や樹脂部に付着した水あかなどの汚れ落としにTOTOWaterアカクリーナーのご使用をおすすめします。

TOTOWaterアカクリーナーは水栓に傷をつけずに汚れを効果的に除去します。
お求めはお近くのTOTOWaterショールームもしくはTOTOWaterパーツセンターにお尋ねください。
- 軽い汚れの場合は水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、汚れをふき取ってください。
ひどい汚れの場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取った後、水洗いし、からぶきしてください。
- 水栓の表面や樹脂部を傷つける以下のものは使用しないでください。
 - ・TOTOWaterアカクリーナー以外のクレンザー、磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤
 - ・ナイロンたわし、ブラシなど

寒冷地用水抜き方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜き栓の操作とあわせて、次の要領で水抜きをしておいてください。またお客様にも水抜き方法をご指導ください。

水抜き方法

シャワータイプの場合（右図参照）

- レバーハンドルを中央位置（湯側・水側の中間）で上げてください。
- 水受けトレイを外してください。
- ハンドシャワーを水抜きコック部が最も下端になる位置まで引き出し、ホース途中の水抜きコックを開いて、ホース、ハンドシャワー内の水を抜いてください。
- 水抜きの際、ハンドシャワーを振ると中の水が抜けやすくなります。

- ※水抜きコックを開ける時はバケツ等で受けてください。
- ※水抜き後は必ず水抜きコックを確実に閉めてください。
- ※水抜き後は必ず水受けトレイを元にセットしてください。この時ホースは切欠部へ入れてください。

